

北条鉄道の不祥事と社長公募について

■不祥事のお詫び

北条鉄道社内の不祥事や新社長の公募などにつきまして、不正確な報道もあって市民の皆様はじめ、利用者、株主、ボランティア駅長の皆様方にご心配をおかけしましたことを先ず深くお詫び申し上げます。

定年や社内の人間関係などを理由に4名の退職がありましたが、安全と運行の継続を第一義に対処して参りました。幸い運転士（8名）の退職はなく、法定の安全統括管理者も遅滞無く選任し、当面は安全上問題なく人員のやり繰りができています。今月1日付で新たに1名が入社したのに加え、安全対策をさらに強化するため、後任の鉄道部長（取締役級）も公募中です。

前取締役は、年間報酬220万円余のところ、2年半にわたって合計150万円余を余分に受け取っていましたが、既に全額返納済みです。これ以外にも数名の社員による命令無視、欠勤、物品の無断購入、暴言などがあったことも判明しましたので、11月16日開催の取締役会で協議し、一連の問題について厳正な処分を行う予定です。

日頃から情報開示に留意し、今回も早い段階で国・県にも報告しましたので、会社として不祥事を隠蔽する意図はなく、執行機関である取締役会の合議によって公正かつ適切に対応してきたことを何卒ご理解ください。今後は、社内の管理体制を強化し、法令順守と企業統治を徹底して再発防止に努める所存ですので、引き続き安心して北条鉄道をご利用いただけますようお願い申し上げます。

■社長の責任

今回の件は、北条鉄道の経営問題であるにも拘わらず、政治問題化されようとしたことは誠に残念です。もとより会社の最高経営責任者として社長には会社で起こった全てについての最終的な責任があります。私は4年間全力で鉄道の経営改善に取り組んできましたが、残念ながら今回の不祥事が起きた点については、私の監督不十分として深く反省しております。経理処理については公認会計士の指導を受け、監査役の監査手続きも経たものであり、会社には専務取締役鉄道部長と取締役経理担当が常勤する他、非常勤取締役5名も加わって経営に当って参りました。

先の役員会において、自らの処分についても諮りましたが、無報酬で非常勤かつ日頃誠実に経営参加していることなどから、そもそも減給処分は不可能であり、社長の直接的責任はないとされました。

私が社長を辞任して責任を取る方法もあるのですが、それでは会社の経営が殆んど機能しなくなります。したがって、次期社長の選任や経営体制刷新のための道筋を付けることこそ、私の責任を全うすることであると認識しています。

■社長候補の公募

人の命を預かり、安全を最優先する鉄道会社の社長職を、市長が片手間で務められるものではありません。私は、この4年間終始一貫して取締役会や株主総会をはじめ市議会などでも、常勤の民間人社長を採用して経営改革を進めることの必要性を訴えてきましたが、今回その主張を漸くご理解いただき公募するものです。

新社長の選任にあたっては、半年以上は副社長として勤務してもらい、その力量と信頼性を確認した上で、株主総会の承認など会社法に定められた手続きを踏んで新社長を選任します。そして私自身は代表権のある会長職に就く予定です。そのため既に2年前には、「会長1名を置くことができる」と北条鉄道の定款を変更しており、その手続きも株主総会で議決しておりますので、小野市も株主なら当然認識されるべきことです。

小野市長は平成17年一方的に北条鉄道取締役を辞任され、平成18年には小野市の北条鉄道経営対策事業基金条例を廃止され、再三にわたり株式の買取請求をされています。けれども兵庫県の了承や取締役会の承認が得られず、買取請求には未だ応じられない状況です。私が市長になる以前より、小野市は北条鉄道からの撤退を考えられてきたものであり、事有るごとに騒ぎ立て、撤退を表明されるのはいかながなものでしょうか。

■今後の鉄道経営

第三セクターは、責任の所在が不明確で機敏な舵取りができません。加西市に過半数の支配権があれば、もっと柔軟な経営ができますし、今回の事態にも早い対応ができたと思っています。市や県が出資する三セクだから経営が健全になるわけではありません。現場の日頃の努力により、しっかりと経営管理ができてこそ安全運行や経営改革が実現します。設立当時から25年が経過し社会経済情勢が大きく変化した現在、北条鉄道の資本構成を見直したり、市内企業に出資してもらうなどして、民営化も検討するべきと考えています。

高齢化とバリアフリーの時代、そして環境の時代には、鉄道の存在意義は改めて再評価されるでしょう。94年間続いた地域交通遺産としての鉄道は、市民挙げて守っていかなければならないと思っています。

(市長)

よくあるご質問(FAQ)

■飲酒運転裁判

他の自治体運営や企業経営にも大きく影響する重要案件であり、確定判決とすることは自治体の責務であるとして、元管理職員から提訴された裁判に止む無く応じたもので、勝敗よりも判決を明らかにする必要があった裁判です。市側敗訴は大変残念ですが、私が「必ず勝訴できる」などと断言し、議会在議して裁判を進めたものではありません。裁判費用として弁護士代など約170万円を要しましたが、議会でご承認いただいたものです。

最高裁判決を受け11月10日に職員懲戒審査委員会より「停職が妥当」との再答申を受けました。今後は、前回懲戒解雇から今回復帰まで、実際に働いていなかった期間の給料をいくら支払うかなどについて、本人と協議したいと思います。なお、退職金は兵庫県市町村職員退職手当組合から支払われますので、加西市の負担増にはなりません。

処分の詳細については、広報かさい来月号及び市ホームページで公表します。(この原稿は11月10日現在で作成)

■保育所・幼稚園の民営化

市内21カ所の市立保育所・幼稚園は、今、すべての園で定員割れが起きており、財政難から維持補修もままなりません。市民の皆様への説明会などを重ね、平成21年度中に幼保の一元化・民営化計画を確定し、遅くとも平成23年春から順次、民間に運営してもらう考えです。子ども達の明るい未来のために、市民の皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

■社会人採用や任期付き職員採用

行財政改革を進め、新時代の重要な政策課題に取り組むにも、現状では市役所に育っていない分野の人材について、即戦力として採用しているものです。3年目を迎えた社会人採用(12名)と並んで、任期付き管理職(2名)も大変よく頑張ってくれています。市では、様々な分野の専門性をもった人材を募集中ですので、現在都会などで働き、ふるさとに貢献したいという志の高い方のご応募をお待ちしています。

■市長の出張や交際費

私は、公私混同の出張、無駄な出張、物見遊山の出張はしていません。市長一人で用が足りる場合は、たとえ荷物があっても随行者を付けず単独で出張します。逆に、若手職員や女性職員であっても一人で出張させています。市長と同じくらい出張して精力的に活躍している職員も複数います。昨年度の市長出張件数は41件、市役所全体の2.3%です。経費節減は図っていますが、必要な出張には行って、旅費と人件費以上の成果を出すよう指導しています。

また、個人的飲食を公費で賄ってはいません。加西市は公民連携を進め、大学や民間企業等との連携強化を図っています。病院のあり方委員会、バイオディーゼル燃料事業、滞納回収業務の一括外部委託、公民連携、事業仕分け、公会計なども市長自ら先を見越して相手方に働きかけたことで、全国に先駆けて加西市で実施できたものです。

その殆んどは手弁当で加西市に協力していただいております。食事のもてなし位は社交儀礼の範囲内と考えます。記者懇談会などで手作り弁当や季節の果物を出すのも、加西市の食材と郷土料理の開発やホスピタリティを高めるためのものです。市長交際費は、前々市長時代は年間予算500万円、前市長は250万円、現在の予算額は190万円で、平成20年度決算額は144万円でした。また、144万円全額を市長単独で使っているわけではありませんし、近隣各市の市長交際費は300万円程度です。なお、私の行動や出張や交際費などは、毎月ホームページで詳しく開示しておりますのでご覧ください。

■職員採用問題のその後

私の手元に上がってきた決裁書に添付された採用順位が、女性であるなど不合理な理由付けで採用順位が恣意的に入れ替えられていたので、私は偏差値で集計するなどして本来あるべき姿に正したものです。そして市長再選後に、公約通り第三者委員会「採用のあり方委員会」を立ち上げ、公正かつ透明性の高い採用選考のルールを確立しました。

市長が点数改ざんなどの不正を一切指示していないことは、懲戒審査委員会ではっきりと確認されています。また、改ざん等に関わった人事係長、総務課長、総務部長(いずれも当時)の三名は減給10%6ヵ月の重い処分を受けています。

私が市長に就任して以降、加西市の職員採用制度は大幅に改正され、採用後の職員の指導・育成にも注力しています。私は採用面接に立ち会いますが、個々の受験者の点数評価はせず、試験委員会の原案を極力尊重して採用決定しています。

■議会の模様

加西市議会での審議や市長以下執行者の答弁の様子は、インターネットで実況・録画の両方をご覧いただけます。個々の議案に対する各議員の賛否の状況は、広報かさいでも開示しています。本会議が停滞・遅延すると、出席者の人件費だけで一時間約30万円の損失ですが、市長以下幹部職員が拘束されている間は、通常の業務がストップしてしまいます。皆様が選ばれた市長や議員が効率的かつ効果的に仕事をしているか、無意味な議論を繰り返していないかなど、市議会を一度傍聴されチェックされることをお勧めします。百聞は一見に如かずです。

(市長)